

委託事業実施内容報告書

平成23年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業

【日本語教室の設置運営】

受託団体名 株式会社三恵コンサルティング

1. 事業の趣旨・目的

デカセギから定住化に向かいつつある地域の外国人が生活に必要な日本語を学習しながら、日本の制度や習慣を学び、生活能力を高め、多文化共生の地域を支える一員として活躍することで、外国人の社会参加を促進していくことを目的とする。

2. 運営委員会の開催について

【概要】

開催日時	開催場所	出席者	議題	会議の概要
8月9日	株式会社三恵コンサルティング川名営業所会議室	・三上憲一 ・キノ・フェイラ・ジミ ・リ・レオ・ルト ・加島智佳子 ・大島ウイゾニア・ミ	・募集方法の検討 ・参加者見込み数	・どこにどれだけの募集広告を出せばいいのか？ ・直接、声掛けが可能な参加者リストの作成
9月9日	株式会社三恵コンサルティング川名営業所会議室	・三上憲一 ・キノ・フェイラ・ジミ ・リ・レオ・ルト ・加島智佳子 ・大島ウイゾニア・ミ	・授業の進め方 ・追加募集について	・2週間経過した日本語教室の現状と課題について話し合い ・参加者の激減、事故などの想定されるリスクについての対処を検討
10月10日	株式会社三恵コンサルティング川名営業所会議室	・三上憲一 ・キノ・フェイラ・ジミ ・リ・レオ・ルト ・樋口 左恵子 ・別府フェリハ	・運営委員会メンバーの変更と引き継ぎ ・欠席が続く受講生への対応方法	・当初の運営委員会メンバーが多忙のため、交代になった。 ・欠席者への対応とどのようにすれば出席率が上がるかの検討。
11月10日	株式会社三恵コンサルティング川	・三上憲一 ・キノ・フェイラ・ジミ ・リ・レオ・ルト ・樋口 左恵子	・テキストの修正 ・中間アンケートの実施を検討	・受講生のレベルに合わせてテキストの修正を検討するために中間アンケートを

	名 営 業 所 会 議 室	・ 別府フェリア ^o	・他の日本語教室 の見学を予定 ・親睦会の検討	実施する。 ・出席率向上のため、他の 日本語教室の見学や親睦 会の実施を検討。
12月9日	株式会社三 恵コンサル ティング川 名 営 業 所 会 議 室	・ 三上憲一 ・ キリノ・フェイラ・ジミ リ・レホ ^o ルト ^o ・ 樋口 左恵子 ・ 別府フェリア ^o	・中間アンケートの 見送りと代替策 ・他の日本語教室 の見学報告	・中間アンケートの代わり にヒアリングを実施したの で、その報告 ・他の日本語教室の現状 や課題を報告し、当教室に 置き換えてみる。
2月9日	株式会社三 恵コンサル ティング川 名 営 業 所 会 議 室	・ 三上憲一 ・ キリノ・フェイラ・ジミ リ・レホ ^o ルト ^o ・ 樋口 左恵子 ・ 別府フェリア ^o	・授業の進捗報告 ・最終アンケートに ついて ・今後の見通し	・授業の進み具合を報告 し、最終アンケートの内容 を検討。 ・受講生の継続を希望する 声への対応と今後の見通 しについて

3. 日本語教室の開催について

- (1) 講座名 「生活に必要な実践的な日本語教室」
- (2) 開催場所 K0 フィットネス内の会議室
- (3) 学習目標 ・保険、医療、教育など日本の基本的な制度について理解できる
 - ・軽い症状であれば一人で病院に行くことができる
 - ・公共交通機関を使いこなせる
 - ・地震、災害、事故などの時にどの様に対処すれば良いかが分かる
 - ・地域のことを知り、身近な人たちと交流することができる
 - ・自らがリードして 30 分の日本人ボランティアとのフリートークができる
- (4) 使用した教材・リソース オリジナルテキストと追加テキスト
- (5) 受講者の募集方法

オリジナルの募集チラシを作成、外国人向け求人媒体「チャンス」に日本語教室開催のお知らせ広告を出稿
- (6) 受講者の総数 13 人
(出身・国籍別内訳 ブラジル 10 人、ペルー 2 人、ボリビア 1 人)
- (7) 開催時間数(回数) 62.5 時間 (全 25 回)

(8) 日本語教室の具体的内容

回(※)	開催日	時間数	受講人数	会場	内容
1	8月20日	2.5時間	13人	K0 フィットネス 内の会議室	・講座のオリエンテーション ・第1課「あいさつと自己紹介」 ・お互いに自己紹介
2	8月27日	2.5時間	11人	K0 フィットネス 内の会議室	・第1課「あいさつと自己紹介」の続き ・受講に際してのアンケートを実施
3	9月3日	2.5時間	6人	K0 フィットネス 内の会議室	・「台風について」の追加テキスト ・実際に地図を使って学習 ・今までどこに住んだことがあるか、行ったことがあるかを発表
4	9月10日	2.5時間	8人	K0 フィットネス 内の会議室	・第2課「道をたずねる」
5	9月17日	2.5時間	8人	K0 フィットネス 内の会議室	・第3課「買い物①」 ・店員と買い物客の役に別れて会話を練習 ・「あの」「この」「その」などの言葉の意味と使い方
6	9月24日	2.5時間	9人	K0 フィットネス 内の会議室	・第4課「買い物②」

7	10月1日	2.5時間	12人	K0 フィットネス 内の会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の歌謡曲について、歌詞をサブ教材にして学習 ・「上を向いて歩こう」「時の流れに身をまかせ」「世界に1つだけの花」
8	10月8日	2.5時間	11人	K0 フィットネス 内の会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・第5課「旅行の思い出」
9	10月15日	2.5時間	8人	K0 フィットネス 内の会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・第6課「仕事を探す①」 ・面接の際の電話対応をロールプレイで実施
10	10月22日	2.5時間	9人	K0 フィットネス 内の会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・「世界の公用語について」の追加テキスト ・履歴書と職務経歴書の書き方
11	11月5日	2.5時間	11人	K0 フィットネス 内の会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・第7課「仕事を探す②面接編」 ・実際に模擬面接を実施
12	11月12日	2.5時間	12人	K0 フィットネス 内の会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・第8課「病気になったら」
13	11月19日	2.5時間	12人	K0 フィットネス 内の会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・第8課「病気になったら」の続き

14	11月26日	2.5時間	10人	K0 フィットネス 内の会議室	第9課「お正月の過 ごし方」
15	12月3日	2.5時間	10人	K0 フィットネス 内の会議室	第9課「お正月の過 ごし方」の続き ・「助詞 『は』『が』 の使い方」追加テキ スト
16	12月10日	2.5時間	9人	K0 フィットネス 内の会議室	・母国でのお正月の 過ごし方を発表し 合う
17	12月17日	2.5時間	8人	K0 フィットネス 内の会議室	・「日本の流行語、 若者言葉」の追加テ キスト ・日本の歌謡曲を合 唱「上を向いて歩こ う」「時の流れに身 をまかせ」「世界に 1つだけの花」
18	1月7日	2.5時間	12人	K0 フィットネス 内の会議室	・年末年始をどのよ うに過ごしたかを 発表し合う ・第10課「ファミ レスで」 ・実際にファミリー レストランに行っ て実践
19	1月14日	2.5時間	11人	K0 フィットネス 内の会議室	・第10課「ファミ レスで」の続き ・店員とお客に分か れての会話トレー ニング

20	1月21日	2.5時間	12人	K0 フィットネス内の会議室	・第11課「結婚式に呼ばれて」
21	1月28日	2.5時間	12人	K0 フィットネス内の会議室	・第11課「結婚式に呼ばれて」の続き ・冠婚葬祭のマナーや服装について学習
22	2月4日	2.5時間	11人	K0 フィットネス内の会議室	第12課「街で見かける看板、注意書き」で漢字とその意味の学習
23	2月11日	2.5時間	10人	K0 フィットネス内の会議室	第12課「街で見かける看板、注意書き」の続き
24	2月18日	2.5時間	10人	K0 フィットネス内の会議室	・「通信販売での物の買い方」について 通販カタログ Nissen を使って説明
25	2月25日	2.5時間	11人	K0 フィットネス内の会議室	・日本語教室の成果や今後、どのような日本語教室が必要かについて発表し合う ・終了アンケートの記入

(9) 特徴的な授業風景(2~3回分)

- 8月20日(・講座のオリエンテーション・第1課「あいさつと自己紹介」・お互いに自己紹介)、
10月15日(第6課「仕事を探す①」)、11月5日(・第7課「仕事を探す②面接編」)

受講生はブラジル人が多数を占めましたが、初めにお互いの自己紹介をしながら、どんな日本語教室にしたいか、何を学びたいかなどの積極的な意見交換ができました。

また、日本に永く住んでいても、自分自身で仕事を探し、面接の連絡をしたり、履歴書を書い

た経験のある人は非常に少なく、10月15日～11月5日の授業では、履歴書と職務経歴書のサンプルを見るだけでなく、実際に自分の履歴書を書き、面接を申し込む電話対応や模擬面接などをロールプレイ形式で実践しました。



4. 事業に対する評価について

(1) 当初の学習目標の達成状況

当初より、学習意欲は高く、どのようなことをどれだけ覚えたら生活がスムーズになるのか、日本人と交流するにはどうすればいいのかといった多文化共生の意識も高かった。

このことによって、受講生間のレベルの差がありながらも、お互いが支え合い、教え合いながら、学習を続けることができた。

学習を進める過程で、生活に必要な日本語の教育と同時に日本の制度や習慣を教えることの重要性を再認識するに至り、追加テキストなどで対応ができたことは良かったと思う。

受講生の中には、必ず授業の少し前に来て、日常生活で目や耳にする単語を書き留めたメモを講師に見せて、質問をすることも多かった。

(2) 学習者の習得状況

国籍に偏りがあったが、参加者同士は当初から仲良く、質問も多かった。

座学で日本語を学習するだけでなく、実践で使う場を求める受講生も多く、休憩時間も日本語を使って会話をするようになっていた。

当初、レベルのバラつきを心配したが、レベル毎に座席を固定することで、レベルの高い受講生がサポート役にまわり、全員が平均的に発言し、自分の意見を言えるようになった。

(3) 日本語教室設置運営の効果、成果

外国人コミュニティの中でのみ生活し、仕事以外で日本人と接点を持たない外国人は多い。

この状況は、仕事を持たない外国人主婦層に特に顕著であり、情報収集力や日本での生活能力は著しく低いと言わざるを得ない。

また、過去に何度も日本語教室に通った経験のある外国人も多くいるが、基本的な学習の反復に意欲も下がり、途中で行かなくなったという声も多い。

今回のように、生活に密着した実践的な日本語教室は、参加者の学習意欲の維持、向上にも役立ち、どれくらいの日本語が生活する上で必要かの指針ともなる。

また、「生活に必要な」という意味では、地域ごとに異なる外国人の問題やニーズに対処するため、柔軟なテキスト構成が必須であり、オリジナルテキストと時事問題、季節のトピックスを題材にした追加テキストの存在は、有益であったと考える。

(4) 地域の関係者との連携による効果, 成果 等

近隣市町にも日本語教室は多く、他の教室を見学に行った際には、お互いの問題点や解決策など、また、外国人の問題や求める支援などの情報について意見交換ができた。

(5) 改善点, 今後の課題について

① 現状

- ・子供を連れての日本語教室参加をお断りしなくてはならなかった
- ・参加者の日本語レベルにもバラつきがあり、どのレベルに合わせるかが難しい。

② 今後の課題

- ・託児機能や一時預かりの場所を確保していき、これから子育てをする上で、日本語が必須となると思われる外国人の主婦層が受講しやすい環境作りが必要
- ・土日勤務や残業、シフト変更などに出席率が大きく左右される、仕事を持つ外国人が参加しやすい場所や時間の確保

③ 今後の活動予定, 展望

教室を継続して欲しいとの希望者が大半であるが、会場代、講師代、交通費など、金銭的な問題が多い中ではあるが、前述の託児機能や一時預かりの場所を考慮した上で、初夏までには、他団体との連携も含め、何らかの形で再開をしたいと考えている。

(6) その他参考資料

なし